

# 第115回 全日本剣道連盟「社会体育指導員剣道（初級）」

## および公益財団法人日本体育協会「指導員剣道（専門科目）」養成講習会要項

### 1 目的

地域において、剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室等で剣道の実践的指導に当たっている指導者の資質の向上を図り、剣道をより充実し正しく普及発展させること、および指導者に必要な知識・能力を得ようとする者の養成を目的とする。なお、地域社会における剣道の指導者としての公的資格を得るための、公益財団法人日本体育協会「指導員剣道（専門科目）」の講習を兼ねる。

### 2 主催

全日本剣道連盟

### 3 期間

平成29年10月13日（金）～15日（日） 2泊3日

### 4 会場

新潟市西川総合体育館

〒959-0411 新潟県新潟市西蒲区善光寺 369 番地 1 電話 0256-78-7258

### 5 宿舎

メイワサンピア

〒950-2261 新潟県新潟市西区赤塚 4627-1 電話 025-239-3232

※宿舎と会場の往復シャトルバスを用意しています。ご利用される方は申込書にご回答下さい。

### 6 日程および科目

別紙日程表による。 ※講習生の人数によって、時間・日程変更する場合があります。

### 7 受講資格

- (1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であり、年齢22歳以上（原則）で剣道三段以上の者で、地域において、剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室等で、剣道の実践的指導に当たっている指導者および指導者に必要な知識・能力を得ようとする者。
- (2) 全日程を受講できる者。原則として、合宿とする。
- (3) 年齢基準は、平成30年3月31日以前に22歳の者。

### 8 受講対象（定員）

本講習会は、全国を対象として実施する。

人数枠 90名（予定）

### 9 申込み

受講希望者は申込書（別紙2）に必要事項を各人が記入し、登録都道府県剣道連盟に申込みこと。

都道府県剣道連盟は、一覧表（別紙3）を作成し、申込書（別紙2）を添え一括全剣連に申込みこと。

【申込み先】 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-2

東京都剣道連盟

電話03-5405-2166 FAX03-5405-3680

### 10 申込み締切り

平成29年7月28日（金）必着のこと。

21日（金）東京厚連 info@gakuren.jp（支払い別途）

### 11 受講者の決定

(1) 全剣連は申込み締切り後、受講希望者本人に関係書類を送付する。

(2) 受講者は、平成29年8月25日（金）までに参加経費を直接全剣連に納入する。

※ 後日、全剣連より振込用紙を送付する。

## 12 参加経費

《講習会参加経費》

《一般》	受講料	18,000円
	剣道社会体育教本代	2,100円
	宿泊代（食事代・懇親会費含む）	21,620円
	集合写真代	1,000円
	合計	42,720円

《シルバー割引》65歳以上は一般の受講料の一割引。

	受講料	16,200円
	剣道社会体育教本代	2,100円
	宿泊代（食事代・懇親会費含む）	21,620円
	集合写真代	1,000円
	合計	40,920円

※ シルバー対象は平成30年3月31日までに65歳になる者。

《全剣連登録料》 後日認定証と共に登録料（5,400円）振込用紙をご自宅宛てに郵送する。  
登録料未払いの場合、認定をしない。

《受講取消しの返金》（1）平成29年9月29日（金）までは手数料を引き全額返金。  
手数料 610円  
（2）それ以降は取消しの効かない宿泊・食事代と剣道社会体育教本代および  
手数料を引いた額を返金。  
（3）上記（1）（2）以外の返金はしない。

## 13 安全対策

参加者は、各自十分健康管理に留意して本講習会に参加すること。

全剣連において、講習会実施中、傷害発生の場合は応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合、当日の治療費（手術、入院費は含まない）は全剣連が負担する。

なお、全剣連は講習中の参加者の事故に対し、（講習会場への往復途上は含まれる）傷害保険に加入する。  
参加者は、必ず健康保険証（コピー不可）を持参すること。

### （3）その他

- ① 申込書に記載される個人情報（登録県名、称号・段位、漢字氏名、カナ氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等）は全剣連が実施する本講習会のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。
- ② 本講習会を受講した者に、全剣連「社会体育指導員」の講習証を付与し、合格した者には「全剣連社会体育指導員剣道（初級）」の認定証を授与する。なお、規定の基準に達しない科目がある場合は条件付合格となる。
- ③ 本講習会に合格した者は、公益財団法人日本体育協会「指導員剣道（専門科目）」の修了者となる。
- ④ 本講習会の受講者は、通信教育で10単位分を自宅学習し、講習会時に指定の論文を提出し、通信教育分の筆記試験を受験する。
- ⑤ 本講習会の合否は、後日、受講者本人に連絡する。
- ⑥ 合格者の登録料は、後日本人より全剣連に振り込む。
- ⑦ 「全剣連社会体育指導員剣道（初級）の認定証」は、後日、個人評価表と合わせて本人に送付する。



## 第 1 1 5 回全剣連社会体育指導員養成講習会（初級）日程表

〔平成29年10月13日（金）～15日（日） 新潟市 新潟市西川総合体育館〕

時限	時 間	第1日 (10/13 金)	第2日 (10/14 土)	第3日 (10/15 日)
			6:30～ 朝 食	6:30～ 朝 食
1	07:30 ↓ 08:30		8:00～8:45 剣道の歴史 教室	8:00～8:45 剣道形実習・指導法3 道場
2	08:30 ↓ 09:15	8:30受付 9:00ガイダンス 9:15開講式	8:55～9:40 剣道の特性 教室	8:55～9:40 剣道の安全・衛生管理 教室
3	09:25 ↓ 10:10	通信教育分テスト 論文審査 教室	9:50～10:35 体力トレーニング理論 教室	9:50～10:35 障害疾病の観察と対処 教室
4	10:20 ↓ 11:05	剣道指導の心得 教室	10:45～11:30 体力トレーニング実習 道場	10:40～11:25 理論テスト 教室
5	11:15 ↓ 12:00	剣道形 実習・指導法1 道場	11:40～12:25 応急処置法 道場	11:35～12:20 審判の基本技術実習・ 技術指導テスト (全講師) 道場
	12:00 ↓ 13:00	昼食・休憩	12:25～13:00 昼食・休憩	12:20～13:00 昼食・休憩
6	13:00 ↓ 13:45	審判法の理解 (旗の操作を含む) 道場	個人・集団指導法 (剣道授業の展開) 教室	トレーニング 実技実習3 (形・実技) (全講師) 道場
7	13:55 ↓ 14:40	基本技術指導法1 道場	剣道形実習・指導法2 道場	剣道形実習テスト (全講師) 道場
8	14:50 ↓ 15:35	基本技術指導法2 道場	基本技術指導法5 道場	基本実技実習テスト (全講師) 道場
9	15:45 ↓ 16:30	基本技術指導法3 道場	審判の基本技術実習・ 技術指導1 (全講師) 道場	閉講式
10	16:40 ↓ 17:25	基本技術指導法4 道場	審判の基本技術実習・ 技術指導2 (全講師) 道場	
11	17:35 ↓ 18:20	トレーニング 実技実習1 (稽古) (全講師) 道場	トレーニング 実技実習2 (稽古) (全講師) 道場	
		入浴・夕食 自由時間 就 寝	入 浴 懇親会 就 寝	

※講習生の人数によって、時間・日程が変更になる場合があります。

**第115回 全日本剣道連盟「社会体育指導員剣道（初級）」  
および公益財団法人日本体育協会「指導員剣道（専門科目）」  
養成講習会申込書（個人用）**

平成 年 月 日

所属都道府県剣道連盟 (支部名)	都道府県 ( ) 支部
フリガナ	
氏名(性別)	(男・女)
全剣連番号	※必ずご記入ください
生年月日(満年齢)	昭・平 年 月 日生 ( 歳) ※29年10月12日時点の年齢
現住所	〒 携帯( ) - TEL ( ) -
職業	会社員 警察官 自衛官 消防官 教員 団体職員 公務員 自営業 主婦 無職 その他 ( )
勤務先名称 (又は通学先を記入)	名称: 住所: TEL ( ) -
剣道に関する 概得資格	称号( 士) 取得年月日 昭和・平成 年 月 段位( 段) 取得年月日 昭和・平成 年 月
最終学歴	中学校 高等学校 大学 学部 専攻
剣道活動歴	小学校 年～ 年 中学校 年～ 年 高等学校 年～ 年 大学 年～ 年 社会人 年間 通算剣道歴 年
指導歴	開始時期(年数) 指導対象
	( )
	( )
競技実績 (最高大会名を記入)	市町村レベル ( )
	県大会レベル ( )
	地域ブロックレベル ( )
	全国大会レベル ( )
審判実績 (最高大会名を記入)	市町村レベル ( )
	県大会レベル ( )
	地域ブロックレベル ( )
	全国大会レベル ( )
講習会前日(10月12日) の宿泊希望の有無	前泊しない
	前泊夕食なし(+7, 100円)
往復シャトルバスのご利用の有無を右の欄に○印をつけて下さい。	利用する・しない

※ 勤務先の番号は日中に連絡を取る場合に必要です。(携帯番号でも可)

※ 前泊希望の有無は、必ずいずれか○印をつけること。